

HILLSIDE TERRACE



とある未亡人の椅子「ちょっと座るのに便利。靴を履くときなど」 2018 acrylic on canvas 96.8 x 59.3 cm ©Ellie Omiya 撮影:Kenta Aminaka

大宮エリー 『*Beautiful Days* ～美しき日々』

Ellie Omiya

2019.1.12[Sat] — 27[Sun]

展覧会について

2019年がはじまります

久しぶりに東京で代官山ヒルサイドテラス奥まで使って約2週間の個展です。大きな部屋は、「楽園」を中心に、この個展のために描き下ろす新作がお目見えします。草原でリフレッシュしていただけるような空間です。ピクニック気分でお越しください。アメリカの聖地シャスタ (Mt.Shasta) は世界屈指のパワースポットで秘境です。呼ばれる人しか辿り着けない場所。そこを訪れたとき、私は、ああ、天国ってきつこういところなんだ、というリアルな楽園をまのあたりしました。喜びしかない場所。泉が湧き、小川がながれ、鳥の声、風がこちよく、涙があふれました。こどものように笑いながら走り回りました。うれしくてうれしくて。あれはとてもふしぎな体験でした。細胞のすみずみまで透き通るような、美しい時間でした。みなさんをあの美しい美しい楽園に、お連れできないか。ということで絵画作品と、写真作品とインスタレーションでみなさんをその楽園にお連れしたいと思います。2019年のスタートを、パワースポットでお過ごしください。



そしてさらに！奥の2つのお部屋は、最新作である「とある未亡人の館」を展示いたします。2018年に参加した、六甲ミーツアートで描き下ろした41点の新作。各方面から「画風が変わった!」「とてもいい!」「愛に溢れていた!」「自然と涙があふれた」と大好評に気を良くして、早々と東京でお披露目です。最愛の人を失ったとある未亡人がその美しい日々を振り返ります。(あくまで絵画の展示ですので文章の展示はありません。絵で感じ取っていただければ)

———結婚してすぐに 最愛の夫を亡くしてしまい

愛とはなんだろう
人生とはなんだろうと
考えたりもしました
悲しみにくれています、ある日、よく晴れた日に窓の外を見ていたら
夫がこんな風に言ったのを思い出したのです
「君は僕の心の窓を開けたんだ」
私はそれでいいと思いました
私の人生はそれで十分だと
するとどうでしょう
この家にあるもの全てのものが語り始めたのです。
コーヒークップ、ソファ、椅子、窓、植物、ワインボトル、
私が見過ごしていた、しあわせな日々を、
あらためておしえてくれたのです



二人の大事にした物を描いた41点から美しい日々を感じ取ってみてください。
そして、願いますは、新しい目で、あなたの人生に降り注ぐたいせつなもの
しあわせなじかに目を向け、それらを最大限に、満喫できますように!!

大宮エリー

左上:とある未亡人の観葉植物「あまり水をやらなくても大丈夫な木」171.7 x 69.2 cm.
右上:とある未亡人のチェスト「チェストとトランクと帽子入れ」169.3 x 117.4 cm, 下:とある未亡人のワインボトル「好きなワインたち」48.2 x 50.3 cm
2018 acrylic on canvas ©Ellie Omiya

代官山ヒルサイドテラス ヒルサイドフォーラム

東京都渋谷区猿楽町18-8 ヒルサイドテラスF棟1階

期 間: 2019年1月12日(土) ~ 27日(日)
時 間: 11:00~19:00 ※入館は18:30まで ※最終日17:00終了
休館日: 1月21日(月)
入場料: 500円
主 催: 小山登美夫ギャラリー、小山藝術計画
協 力: ヒルサイドテラス、gallery ON THE HILL

作家情報 www.koyamaartprojects.com/artists/ellie-omiya/
Artist info www.koyamaartprojects.com/en/artists/ellie-omiya/

TOMIO KOYAMA GALLERY HILLSIDE TERRACE ON THE HILL

gallery



撮影: Kenta Aminaka

大宮エリー Ellie Omiya

作家 / 美術家 / 画家
Writer, Artist, Painter

1975年大阪生まれ、東京大学薬学部卒業。広告代理店勤務を経て、日常を綴ったエッセイ集を書いて人気を博す。作家業の傍ら、ラジオのパーソナリティや、テレビ出演から、映画監督、舞台の作演出、と活動はジャンルレスであるが、本人曰く、やっていることはひとつだという。2012年からは、来場者が参加して作品が完成するという特徴を持つ、体験型の個展をはじめ。「立ちはだかるドア」「心の箱」「言えなかったメッセージボトル」など、8つの作品で構成された、「思いを伝えるということ展」(PARCO MUSEUMほか、2012-13年)では、心がすっきりした、涙が出たという感想が多く、この個展の反響で2013年は、「赤い道」「黄色い道」「砂漠の道」などの道を歩いてもらうことで、生きるとは何かをそれぞれがそれぞれに問かける個展「生きているということ展」(PARCO MUSEUM)を発表。また、歩くプラネタリウムという設定の「星空からのメッセージ展」(三菱地所アルティウムほか、2013-14年)を発表。絵画制作は、2012年に東京都国立博物館の法隆寺宝物館にてモンブラン国際文化賞受賞の福武 總一郎氏へのお祝いとして、ライブペインティングした作品「お祝いの調べ:直島」がきっかけとなって始まり、その後、2015年に代官山ヒルサイドテラスにて個展「emotional journey」を開催。同年、個展「painting dreams」(渋谷ヒカリエ 8/ CUBE)、2016年には美術館での初めての個展「シンシアリー・ユアーズ-親愛なるあなたの 大宮エリーより」を十和田市現代美術館で開催、街の商店街にも作品を展開した。2017年には、福井の金津創作の森で個展「This is forest speaking 〜もしもしこちら森です」を開催。「スピリットチャージ写真展」(CAPSULE / SUNDAY、2017年)では写真作品も発表、2018年には「六甲ミーツ・アート芸術散歩2018」に参加、「とある未亡人の館」を制作、展示した。現在、道後オンセナートに参加中。2019年2月には、美術出版社から絵と文章で構成された「虹のくじら」を出版予定。

Born in Osaka, 1975. Graduated from the University of Tokyo, Faculty of Pharmaceutical Sciences. After working at an advertising agency, she achieved popularity for her essays about daily life. Besides her career as a writer, she works as a radio personality as well as a host of TV programs. Although her activities go beyond the border as she also shoots films, writes and directs stage plays, she views them as one creative pursuit. From 2012, she started holding interactive solo exhibitions in which works complete with the viewers' participation. The exhibition "To Convey Emotions" (toured PARCO MUSEUM and other venues, 2012-13) consisted of 8 stories, such as "Door Stands in the Way", "Box of Heart" and "Message Bottles That Were Never Delivered" which refreshed and brought tears to viewers. After its public response, she held a solo show "To Be Alive" (PARCO MUSEUM) in 2013 where viewers were invited to reflect on what is to be alive by walking through "Red Road", "Yellow Road" and "Desert Road". She also presented "Message from the Starry Sky" (toured MITSUBISHI ESTATE ATRIUM and other venues, 2013-14) in which people could stroll through the stars in the walking planetarium. She started to paint since her live drawing "Celebration Melody: Naoshima" at the Gallery of Horyuji Treasures inside the Tokyo National Museum in 2012 which was to celebrate Mr. Soichiro Fukutake receiving the Montblanc de la Culture Arts Patronage Award. She had a solo exhibition "emotional journey" at Daikanyama Hillside Terrace and "painting dreams (Shibuya Hikarie 8/ CUBE)" in 2015, and her first museum solo exhibition "Sincerely Yours, Ellie Omiya" at Towada Art Center in 2016. In Towada she also presented work outside the museum in the shopping arcade. In 2017, she had a solo exhibition "This is forest speaking" at Kanazawa Forest of Creation in Fukui. She also presented her photography works at "Spirit Charge" (CAPSULE/SUNDAY, 2017). She participated in "Rokko Meets Art 2018" in 2018, where she created and presented "Mansion of a Widow". Presently she participates in Dogo Onsenart. New catalogue "Whale of Rainbow" that consists of illustrations and texts is scheduled to be published from Bijutsu Shuppan-sha in February, 2019.

Daikanyama HILLSIDE TERRACE/ HILLSIDE FORUM Hillside Terrace Building F, 18-8 Sarugaku-cho, Shibuya-ku, Tokyo

Dates: January 12(Sat)~27(Sun), 2019 / Hours: 11am-7pm *Last Entry 6:30pm *Last day 5pm End
Open everyday during the exhibition except January 21(Mon) / Admission ¥500

アクセス: 東急東横線「代官山駅」下車
徒歩3分



お問い合わせ: 小山登美夫ギャラリー 03-6459-4030 / info@tomio koyamagallery.com
www.tomio koyamagallery.com / www.koyamaartprojects.com